

— 総括 —

以上がマスターによる講義概要の報告です。より詳しい内容については、物性若手夏の学校テキストをご覧ください。(80冊残部があります。)

最後に、夏の学校の新しい流れについて、多少触れておきます。大学の研究室へのビデオ普及率が序々に上がりつつある昨今ですが、夏の学校も例に洩れず、映像を通じての講義・ゼミナールが行なわれるようになりました。特に、吉田博先生が7月31日に催された舶来ビデオ上映会(高温超伝導)は立ち見が出るほどの盛況でした。近い将来には、家庭用ビデオカメラで収録された映像を通じての短い講義なども実施される様になるものと思われまます。もう一点については、今年限りの現象であって欲しいのですが、出展者不在のためポスターセッションが消滅したことを挙げる事ができるでしょう。こちらについては現在原因を究明中ですので、何かお気づきの点があればお知らせください。